

## 平成26年度 事業計画書

献眼登録の件数は、各ライオンズクラブ様及び白菊会様のご協力を得て、一定水準を維持している。

しかしながら、増加傾向にあった献眼者数が25年度は低調に推移し、愛媛県内で移植待ちの患者（レシピエント）の治療を賄うには依然として不足している。献眼者数増加をはかる為の広報活動の充実、また、事務局、コーディネーター活動体制をさらに強化する必要がある。

このために、下記の事項を本年度の事業計画として実施するものとする。

### 1. 献眼者の増加をはかるための活動

- (1) 主要医療機関の院内コーディネーターおよび医師との連携を密にするため、訪問活動を積極的に行う。
- (2) 愛媛大学白菊会との連携をはかり会員の皆様に献眼についての理解を深めていただくよう働きかける。
- (3) 献眼促進 PR のため調製したポケットティッシュとボールペンを効果的に配布する。
- (4) 愛媛県臓器移植支援センターとの協力関係を維持促進する。
- (5) 献眼者家族へのケアを最大限に行う。

### 2. 献眼についての理解を深めていただくための活動

- (1) 年1回発刊している「愛媛アイバンクだより」を、親しみやすく読みやすい企画にする。
- (2) 「献眼」について、多くの方に理解をいただくよう「講演会」「説明会」の開催を積極的に行う。
- (3) 公共施設等に「愛媛アイバンクだより」「献眼登録リーフレット」の設置を積極的に依頼する。

### 3. 運営基盤の強化

- (1) 財政基盤の整備のため、新規賛助会員の開拓と賛助会費未納付者の減少対策を実施するとともに「募金箱」および「支援型自動販売機」の設置依頼を積極的に行う。
- (2) 献眼時コーディネーターの対応をより円滑にするため、積極的にセミナー等に参加する。

以上